

青森市匠の職人（令和元年度受賞）

出町 邦仁（建築工事防水工）

でまち

くにひと

防水工の魅力と重要性を伝えたい



問い合わせ先 株式会社 デマチ
〒030-0945
青森市桜川六丁目 11 番 6 号
TEL 017-722-3814

取材レポート

出町さんは、学生時代、防水工事業を営むお父様の手伝いをしたことをきっかけとして、以来20年間、建築工事防水工として数多くの工事に携わってきました。在学中は防水工とは別の道も考えていたものの、自分が工事に関わった建物が多くの方に愛され、長く使われるということに感じるやりがい。最後には勝ったそうです。

お父様や先輩の職人さんたちから少しずつ技能を学ぶとともに、自らも勉強や鍛錬を欠かさなかった出町さんは、今ではシーリング防水、塩化ビニル系シート防水、改質アスファルトシート防水トーチ工法と3つの一級技能士資格を持ち、様々な防水技法に精通したスペシャリストになりました。どんな現場にも対応できるように、これからもさらに技法の研究を続けていくとのこと。

また、防水業界全体の大きな目標として掲げるのは「防水工の認知向上」。防水工事は出来栄が建物の寿命を左右すると言われるほど、非常に重要な工事であるにも関わらず、防水工という職種はあまり認知されておらず、後継者も不足しているそうです。そこで今後は、イベントでの実演会や、現場での見学会などを実施し、積極的に情報発信することで防水工の魅力や重要性を広く伝えていきたいと言います。

出町さん自身が最も印象に残っている現場は、新青森県総合運動公園のメインアリーナとのこと。今後何十年と使われるであろう、いわば「県の顔」の建設に、一年半以上に渡って関わるといふ経験はなかなかできるものではないため、大いに勉強になったと話します。また、完成後の達成感や充実感も大きく、防水の仕事をしていて良かったと感じたそうです。そうした防水工の楽しさを、技術とともに次の世代へと伝えていけたら、と話していました。



出町さんが防水施工を行った
新青森県総合運動公園 マエダアリーナ